



平成 18 年 9 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社 ダイセキ環境ソリューション
 代 表 者 名 代表取締役社長 二 宮 利 彦
 コード番号 1 7 1 2 東 証 マ ザ ー ズ
 問 合 せ 先 取締役企画管理部長 村 上 実
 電 話 番 号 0 5 2 (6 1 1) 6 3 5 0 (代 表)
 当社の親会社 株 式 会 社 ダ イ セ キ
 代 表 者 名 代表取締役社長 伊 藤 博 之
 コード番号 9 7 9 3 東 証 ・ 名 証 第 一 部

平成 19 年 2 月期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の状況を踏まえて今後の動向を検討した結果、平成 18 年 6 月 28 日に公表いたしました平成 19 年 2 月期(平成 18 年 3 月 1 日～平成 19 年 2 月 28 日)の業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 中間期業績予想数値の修正(平成 18 年 3 月 1 日～平成 18 年 8 月 31 日)

(単位:百万円、%)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	2,089	126	74
今 回 修 正 予 想 (B)	2,725	222	133
増 減 額 (B-A)	636	96	59
増 減 率 (%)	30.4	76.4	80.6
前 期(平成 17 年 8 月中間期)実績	1,477	75	43

2. 通期業績予想数値の修正(平成 18 年 3 月 1 日～平成 19 年 2 月 28 日)

(単位:百万円、%)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	4,200	270	148
今 回 修 正 予 想 (B)	5,000	400	235
増 減 額 (B-A)	800	130	87
増 減 率 (%)	19.0	48.1	58.8
前 期(平成 18 年 2 月期)実績	3,215	181	105

3. 修正理由

不動産売買をはじめ、減損会計、環境報告書他、様々な経済活動の中で、土壌汚染に係わる環境リスクの認識が一層深まり、浸透しております。そうした社会的背景のもとに、土壌調査・処理とも、実施件数は着実に増加しております。特に、当中間会計期間は期首からの受注が好調に推移したことにより、業績の大幅な伸長が見込まれることとなりました。また、足元の受注状況につきましても引き続き順調に推移しており、下期につきましてもこの受注状況が概ね継続するものと思われま。

これらの状況を背景に、当中間期の売上高は 2,725 百万円(前回予想比 636 百万円の増加)、経常利益は 222 百万円(前回予想比 96 百万円の増加)、当期純利益は 133 百万円(前回予想比 59 百万円の増加)となる見込みであります。

また、通期につきましても、売上高 5,000 百万円(前回予想比 800 百万円の増加)、経常利益 400 百万円(前回予想比 130 百万円の増加)、当期純利益 235 百万円(前回予想比 87 百万円の増加)となる見込みであります。

以上